

日能研スノーキャンプ 2018

～自分を見つける。みんなと笑う。雪の中の4日間アドベンチャー～を開催いたしました

3月26日(月)～29日(木)にかけて、日能研スノーキャンプ2018を開催しました。

天候にも恵まれ、そこには太陽と雪とが織りなす極上の空間がありました。

イグルー(雪のお家。なんと！自分達で作ったお家に泊してきました！)を作っている時は、

少し暑いくらいでした。

スノーキャンプを通して、子ども達の関係はどんどん変化し、深まります。

最初は口数少なかった子が、一緒に雪合戦やソリ遊びをすると、とても楽しそうに笑い、仲間と話し始めます。遊んでいる時や、イグルーを作る時、話し合いをしている時にケンカをしてしまう事もありました。

それでも、仲間が居る場所から居なくなってしまうのではなく、一緒に居続け、チャレンジを続ける。気がつくやとケンカしていた子達が楽しそうに笑い合っています。

グループカウンセラー(大人)がしゃべりすぎて、子どもが話しだすのを躊躇わせてしまう瞬間もあったかもしれませんが。そんな時は、子どもにその場を委ねて、見守ってみます。

すると子どもからは、堰を切ったように言葉が溢れてきます。楽しかったことや、仲間がしてくれて嬉しかったこと。ちょっと嫌だったこと……。

子ども達が体験し感じたことを表現し、ふり返る。次へとつながる学びの時間になります。

子どもの感性の豊かさやチャレンジし続ける力、仲間と仲よくなるパワーを再確認。関わる大人は子どものパワーが最大限発揮されるように、見守り、時にそそのかす。

子どもだけではなく、大人にも沢山のチャレンジがありました。

自分のことは自分でやる。やったつもりでも仲間から指摘されることもある。当たり前かもしれないけど、でも日常生活ではお家の人がやってくれてしまうようなことにもチャレンジし続けた4日間。

美しい自然の景色と多くのチャレンジで、子ども達は一回りも二回りも大きくなったことでしょう。